

中国人民大学公共管理学院との社会保障に関する交流セミナーを開催しました。

(2022年1月6日)

2022年1月6日に、中国人民大学公共管理学院との交流セミナーをオンラインにて開催しました。

中国人民大学は北京にある名門大学で、社会科学・人文科学に特化した中国の中でも最も重要な大学の一つとなっており、中国人民大学公共管理学院と本大学院は2018年11月に学生交流協定および学術交流協定を締結しています。

本セミナーは、学術交流協定に基づき実施されてきた交換講義が、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となっていたところ、このたび、オンラインでの交流セミナーという形での実施に向けての両大学院の強い熱意により実現したものです。

当日は、以下のとおり両大学院の研究者による講演が行われ、日中両国の社会保障政策に関してわかりやすく紹介され、両校合わせて200名程の教員・学生が熱心に参加しました。

オンラインでの学術交流は初めての試みでしたが、両校の参加者にとって大変有意義な機会となりました。両大学院では、今回の成果を活かし、今後も両大学院の知見を盛り込んだ交流セミナーの開催を検討していきます。

【交流セミナーの概要】

14:00-14:10 開会の挨拶 中国人民大学公共管理学院 Liang Ma 教授

14:10-14:55 中国人民大学公共管理学院 He Chen 教授による講演

“Long-term Care Social Security System in China”

14:55-15:25 Chen 教授の講演についての質疑応答

15:35-16:20 一橋大学国際・公共政策大学院 佐藤主光教授による講演

“Economic Value of Care: Challenge of Long-term Care and Social Security in Aging Japan”

16:20-16:50 佐藤教授の講演についての質疑応答

16:50-17:00 閉会の挨拶 一橋大学国際・公共政策大学院長 山重慎二教授